

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月14日
事業名	消防団活動事業	担当課・係名	消防総務課消防総務係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	8
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	地域防災の一翼を担う消防団の規律及び士気の高揚を図り、迅速、的確な消防活動を行うために活動体制の充実を図る				
対象 (誰を・何を)	消防団、消防団員				
内容	出勤及び訓練等の費用弁償支出 県消防協会等へ負担金の支出				
根拠法令・条例等	消防法、消防組織法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,642	4,096	4,160
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,642	4,096	4,160
	職員人数 (概算職員数)	人			0.32
	人件費計 (b)	千円			1,879
総事業費 (a)+(b)	千円	3,642	4,096	6,039	
事業費内訳 H 25 年度	旅費 (2,800)、需用費 (20)、負担金補助及び交付金 (1,340)				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 消防団員数	人	167	171	175
	②				
活動指標 (活動量)	① 災害出勤年間延べ人員	人	525	394	394
	② 訓練等参加者年間延べ人員	人	2,154	2,631	2,631
成果指標 (達成度等)	① 消防団員充足率	%	91.2	93.4	95.6
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	消防体制を強化し、町民の生命、身体、財産を災害から保護し、その被害を軽減するため実施している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	団員が災害発生に対し、即時に有効かつ的確な対応ができるためにも訓練等を実施している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	活動上必要な資機材の整備及び訓練・研修により団員の消防技術の向上と共に、災害時における団員の安全管理が図られている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由	災害による被害の軽減を図るため、消防団員の安全確保とより迅速的確な活動が必要不可欠であり、団員の処遇面の充実も図っていかなければならない。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	消防団員は、本業を持ちながらの活動であり、ほとんどが各種出動手当（費用弁償）であり削減できない。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 町民の安全・安心なまちづくりには、消防団活動は不可欠なものであり、常備・非常備消防が協力し、消防の任務を遂行していく。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
消防団員の減少については、高齢化、サラリーマン化等により問題となっているが、東日本大震災での消防団員の活動が目ざされ、大規模災害時における消防団の活躍が期待されることから、消防団組織の活性化と併せた消防団員の確保を推進する。
② 平成26年度に着手する事項
団員を確保することにより欠員を無くし、地域防災力の維持、向上を図る。
③ その他（課題、調整事項等）
消防審議会に諮問された「消防団組織の見直しについて」の答申に伴い、消防団の適正配置及び消防団員の適正数について協議する。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

消防団組織の活性化と併せた消防団員の確保を推進することにより地域防災力の維持、向上を図る。
---